

経営比較分析表（令和6年度決算）

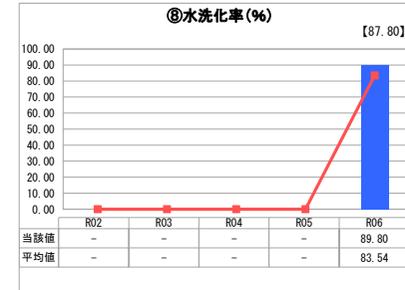
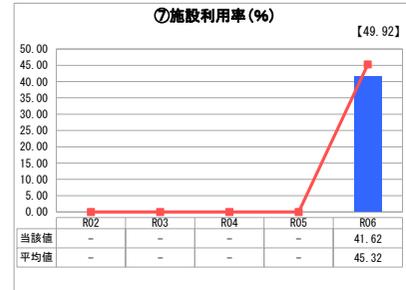
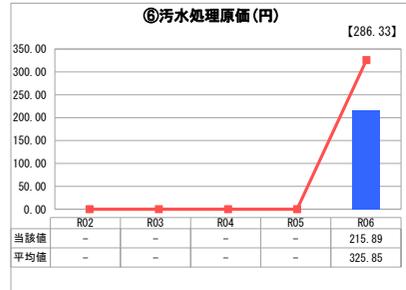
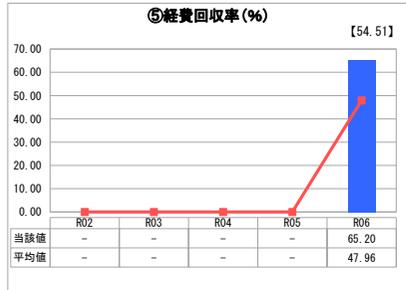
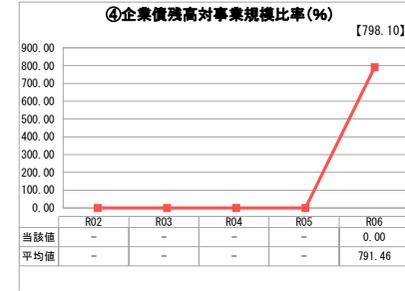
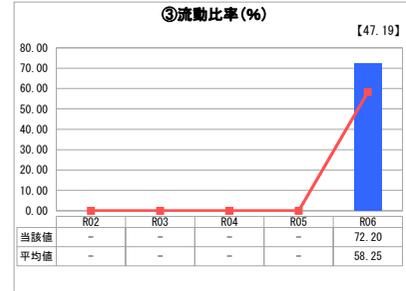
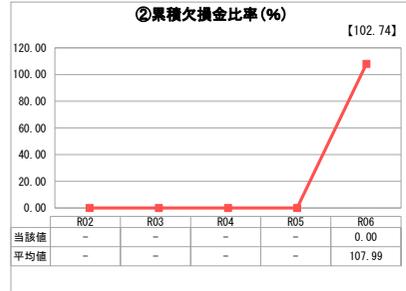
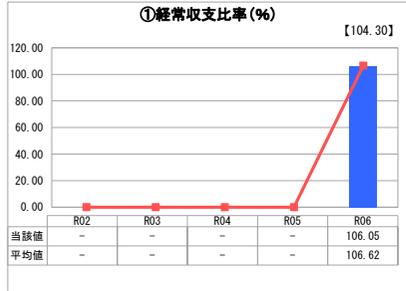
宮城県 小林市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金 (円)
-	90.60	10.61	96.51	2,882

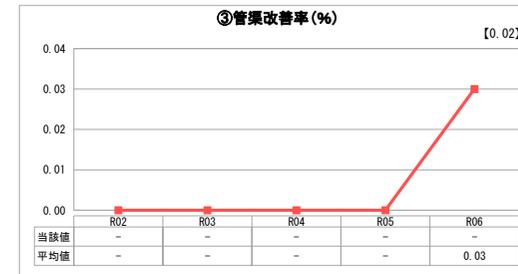
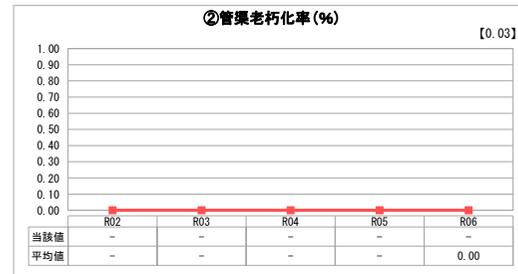
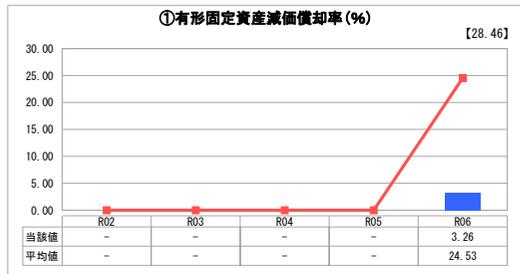
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
42,075	562.95	74.74
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
4,412	5.88	750.34

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、100%を上回り、比較的健全な状況を維持していると考えられます。
 ② 累積欠損金比率は、類似団体、全国平均をともに上回っていますが、保有現金は少なく、資金繰りが厳しい状況となっています。
 ③ 流動比率は、類似団体、全国平均をともに上回っていますが、流動比率は少なく、資金繰りが厳しい状況となっています。
 ④ 企業債残高対事業規模比率については、一般会計からの繰入金で賄っていますが、今後、更なる経営改善を図ることが求められます。
 ⑤ 経費回収率は、類似団体及び全国平均を上回っている状況にありますが、100%を大きく下回り一般会計からの繰り入れで賄われている割合が依然として高いこと等を踏まえ、今後も料金収入の確保、経費削減が必要です。
 ⑥ 汚水処理原価は、類似団体及び全国平均と比較して低く推移していますが、経費回収率は100%を下回っているため今後も経費削減が必要です。
 ⑦ 施設利用率は、類似団体及び全国平均と比較して低く、50%以下となっており、効率的に利用されているとは言えません。将来の汚水処理人口の減少等を踏まえ近隣施設との統廃合等により適切な施設規模を維持する必要があります。
 ⑧ 水洗化率は、類似団体、全国平均値と比較しても高い状況にあり、水洗化普及対策が順調であることを示しています。今後とも水洗化普及に向けた取り組みをさらに高める必要があります。

2. 老朽化の状況について

現在のところ大規模な更新工事の必要性はありませんでしたが、機械及び装置や電気設備について適宜更新や修繕を行っています。単年度に修繕等が集中することのないように、計画的な維持管理を継続していく必要があります。

全体総括

施設については、改築等の必要性は今のところありませんが、今後年数を経るにつれて起こりうるであろう大規模な更新工事に向けた対策を講じる必要があります。
 経営状況は比較的安定した状態で推移していますが、一般会計からの繰り入れに依存している割合が高いため、料金収入確保のための稼働率向上や経費削減が求められます。また、経営戦略を踏まえ改善を図りながら、経営の健全化に取り組んでいきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。